



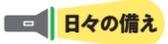
検討の観点と内容の特色 ②

内容解説資料

この資料は、令和6年度小学校教科書の内容解説資料として、一般社団法人教科書協会「教科書発行者行動規範」に則っております。

●教科書の構成上の配慮と工夫

検討の観点	「新編 新しい家庭 5・6」の特色	参照	
1 内容の程度	本文の内容の程度や展開は児童の発達段階に適合しているか。	①各大題材の配分・分量は、時数、学期、学年配分や学期性などから見て、かたよりがなく、適切です。 ②児童の発達段階に配慮し、日常生活に生かせる活動例や実習例を重点的に取り上げています。また、児童の思いや願い、多様な個性に応じた活動に配慮し、実習例を豊富に示しています。	①「年間指導計画案・学習指導要領との関連」を参照。 ②p.22、32、46、48、74、76、88、90、106、108、118、119ほか
	大題材の配列は、児童の発達に配慮するとともに、系統的に学習は展開できるように配慮されているか。	①内容C「消費生活・環境」については、家庭科全体に必要な視点であるので、第4大題材として、5年生の早い段階で取り組むことができるよう配慮しています。また、生活をよりよくする観点から、全体を通して、学習指導要領の内容A「家族・家庭生活」の視点、内容C「消費生活・環境」の視点を入れるとともに、A～Cの内容を総合的に扱う例も取り上げています。例えば、内容Bの1食分の献立を考えることを扱う大題材に、家族のための献立例を示し、家族と楽しく食事をする視点や、環境に配慮しながら買い物や調理をする視点を入れるなどの工夫をしています。 ②学習内容、実習内容ともに、 基礎・基本から応用へと児童の発達段階に応じて系統的に配列 しています。基礎技能「いつも確かめよう」は、その多くを5年生で学習できるように配分しています。調理実習の手順やミシンの使い方など、 5年生で学んだ技能を6年生で再度使うことで、より確実な定着を図る ようにしています。	①p.36-43、112-120ほか ②p.8-11、22、32、46、48、74、76、88、90、106、108、118、119、136-145ほか いつも確かめよう
2 組織・配列	本文・イラスト・写真・図表等は、適切に配分、構成されているか。	①本文・イラスト・写真・図表の配分は適切で、かつ関連を持たせて構成しています。 ②関連のある題材や資料がほかのページにある場合には、「リンクマーク」で適宜参照ページを示しています。	①p.50、86、115ほか ②p.22、29、41ほか リンク
	大題材の配列や学校の実態に応じた指導が生かせるように配慮されているか。また、2学期制への対応に配慮されているか。	①大題材の配列を組み替えることで、 地域や学校の実態に応じた指導ができる ようにしています。また、2学期制にも対応できるように配慮しています。 ②活動例や実習例を豊富に提示することで、地域や学校の実態に応じて、選択して指導できるように配慮しています。	①目次、「年間指導計画案・学習指導要領との関連」を参照。 ②p.22、32、46、48、74、76、88、90、106、108、118、119ほか
3 すべての児童が使いやすい紙面への配慮	特別支援への配慮や工夫が適切にされているか。	①すべての大題材の導入に、タイトル、導入発問、学習の流れ（ステップ1～3のタイトルを並べて示す）を示し、 学習の見通しが立てやすい よう工夫しています。 ②すべての大題材を3ステップで構成していることで、誰もが 問題解決的に学習に取り組めます 。 ③児童の手や体の巧緻性に配慮し、作業する手のアップや姿勢の写真などを豊富に掲載しています。左ききの例も取り上げています。 ④初めての実習が安心して安全に行えるように、巻末資料「いつも確かめよう」には、手をのせて練習できる実寸大写真を掲載しています。 ⑤学習者用デジタル教科書を発行し、文字色や大きさ、行間などを調整し、児童が最も読みやすいようカスタマイズできます。また、総ルビ・分かち書きも表示でき、さらに、写真やイラストなどの図版も拡大できます。	①②教科書全体 ③p.11、22、30、31ほか ④p.136-145
	ユニバーサルデザインが実現されているか。	① 色覚の多様性に配慮 し、カラーユニバーサルデザインの観点から、配色およびデザインについて、外部の専門家による検証を行っています。また、色のみによって区別する問題や表現を避け、黄、赤などの文字を付すなどの配慮をしています。 ②字体は、 独自に開発したUD教科書体 を採用しています。字形を判別しやすく、読み間違いにくいという特徴（ユニバーサルデザインフォント）と、点画の形の正確性という教科書体の特徴をあわせ持ったフォントです。 ③ さまざまな発達特性に配慮 するため、本文と資料部分が明確に区別できるように、罫線を使う、背景に色を付けるなどの工夫をしています。	①②③教科書全体
	学習意欲を喚起し、主体的な学習を促す表現が工夫がなされているか。	①児童が意欲的に学習に取り組めるように、イラストや写真、レイアウトを工夫し、楽しい紙面になるように配慮しています。 ②児童の学習を導くキャラクター（イエティとトリー）が吹き出しで学習のポイントを示唆することで、学習内容がより深く理解できるようにしています。 ③児童と等身大の児童のキャラクターによって、親近感を持たせ、かつ自分自身の課題を投影して考えることもできるようにしています。 ④各大題材の導入では、児童に身近な家庭や学校の場面を写真やイラストで大きく示し、 自分なりの課題を持って学習に取り組める ように工夫しています。また、QRコンテンツのトライシートで自分の意見を整理できます。	①教科書全体 ②③p.2ほか ④p.12、36、54ほか
	人権・福祉などについて配慮がなされているか。	①幼児や高齢者、障がいのある人々、外国人との関わりを通して、 共生の視点に気付くことができる ように配慮しています。 ②基本的なルールやマナーなどに関する内容を紹介し、 他者を思いやり、人権を尊重する態度を身に付ける ことができるようにしています。 ③イラストや写真の男女の服装や発言内容が性別による役割固定にならないよう配慮しています。 ④教科書全体を通して、児童のプライバシーに配慮して表現しています。特に家族の内容では、さまざまな家族形態があり、どれもかけがえのない家族であることが指導しやすいように配慮し、児童の自己肯定感を高めることができるようにしています。	①p.12、36ほか ②p.27、130ほか ③④教科書全体
	レイアウトは見やすい工夫がなされているか。	①判型はA4判を用い、一つの実習を見開きで概観することができるため、開いた状態で見ながら実習できるレイアウトになっています。	①教科書全体
文章表現や漢字、仮名遣い、用語等の使い方は適切か。	①小学校5年生以降で学習する常用漢字には見開きごとにふり仮名を付しています。 ②専門的な用語（衣食住に関する独特の言い回しなど）については、脚注などで 児童が理解しやすい簡潔な表現 で解説を補足しています。	①教科書全体 ②p.47、53ほか	
造本的な工夫がなされているか。	①A4判を用いることで、 情報量を充実させて資料性、視覚的効果を高め、学習の流れが把握しやすい紙面 になるように工夫しています。また、ランドセルや机、道具箱への収納にも十分配慮をしています。 ②イラストや写真の色調が鮮明に再現される紙を用い、活動の楽しさを伝え、意欲を引き出すことに資する紙面になっています。開いた状態が保ちやすいため、実習時などに有効であり、かつ持ち運びに配慮した軽量の専用用紙を開発して使用しています。 ③2年間の使用に十分耐えるよう、表紙には、汚れにくく、防水効果、強度の高い加工（PP加工）を施し、強力な接着剤を用いて製本しています。	①②③教科書全体	

検討の観点	「新編 新しい家庭5・6」の特色	参 照
ご指導経験の浅い先生方への配慮がなされているか。	①実習例には、おさえるべきポイントを児童に投げかける吹き出しを使って強調しています。 ②全体を通しておさえるべき 基礎・基本 が本文に丁寧に書かれ、分かりやすい紙面となっています。	①p.23、32ほか ②教科書全体
カリキュラム・マネジメントを行いやすいよう配慮されているか。	①5年生と6年生で関連する内容をできるだけ同時期に配置して、複式の年間指導計画が立てやすいように配慮しています。 ②15の大題材をユニット型で示して、学校や地域に応じたカリキュラムに組み替えやすいようにしています。 ③他教科と関連する内容には、マークを付け、他教科の学習内容を想起させることで、知識・技能の活用に資するように配慮しています。 ④小学校英語と関連して、 家庭科に関係のある英単語 を脚注に掲載し、次ページに日本語を示しています。	①目次、「年間指導計画案・学習指導要領との関連」を参照。 ②目次 ③p.17、45ほか ④p.13、15、17ほか
道徳教育について、十分に配慮されているか。	①他教科との関連を示すマークで、道徳教育と関連する内容も示し、児童の意識が高まるよう配慮しています。 ②家族や地域の人々との触れ合いや友達との学び合いを通じた学習活動を重視し、学習を通して、 協力や公共の精神が育まれる ようにしています。 ③家庭生活を大切にすることを育むために、自分の生活や家庭の仕事を見直したり、家庭の仕事に役立つ知識や技能を身に付けたりすることで、道徳教育で扱うところの家族を敬愛し、家族の役に立つことをしようとするように配慮しています。	①p.80、128ほか ②p.19、132ほか ③p.12、62、80、128ほか
防災教育について、十分に配慮されているか。	①日頃の生活から防災に向けて気を付ける内容を、コラム「日々の備え」で示しています。 ②災害への備えとして「ローリングストック」を意識し、保存食を活用した調理例を取り上げています。	①p.34ほか ②P.119 
安全面・衛生面について十分に配慮されているか。	①調理実習や製作実習における器具・用具の扱い方、作業上の安全、衛生面など、安全に注意すべき点を丁寧に解説し、「 安全マーク 」を付して、 注意喚起 をしています。また、巻頭に 衛生・安全を特集した「いつも確かめよう」 があります。 ②食物アレルギーについては、関連する本文や図で取り上げ、食品や表示を確認するように促しています。 ③巻頭に「衛生・安全に気をつけて実習をしよう」という特集を掲載するなどして、安全指導を徹底しています。	①p.16、21、22ほか ②p.21、117ほか ③p.8-11 
食育について、家庭科がその充実に資するような配慮がなされているか。	①家庭科で扱う食育「調理の技能」「朝ご飯」「栄養」「共食」を丁寧に扱っています。 ②学校給食とも関連付けて指導ができるように配慮しています。 ③食育に果たす家庭科の役割の重要性に鑑み、食の内容が系統的に繰り返し学習できるように配慮しています。第5・10・13大題材それぞれで栄養に関連する内容を学び、繰り返し学習できるように配慮して展開しています。 ④生活リズムを作るためには、食事が重要な役割を果たすことから、食生活を見直すとともに、特に朝食の摂り方を具体的に考えられるようにしています。 ⑤食事の役割として、人と一緒に食べることの大切さやマナーについても取り上げています。 ⑥ユネスコ無形文化遺産に登録された「 和食 」の 特徴 や、日本の伝統的な郷土料理などを取り上げています。	①p.20、44、84、112ほか ②p.112 ③p.44、84、112ほか ④p.84ほか ⑤p.27ほか ⑥p.27、44、53、149ほか
消費者教育・環境教育や持続可能な社会の構築に向けた取り組みについて、十分な取り組みがされているか。	①消費者教育と家庭科の見方・考え方の一つである「 持続可能な社会の構築 」を重視し、第4大題材で独立して扱い、 消費者としての基本的な知識や態度が身に付くように配慮 しています。特集ページ「SDGsでつくる私たちの未来」があり、持続可能な社会を実現するために、自分にできることを考え、実践に結びつける視点を養います。この第4大題材は、 SDGsの一つである12番目の目標「つくる責任つかう責任」の理解にもつながります 。 ②日常生活における消費者としての態度を考えられるように、献立の材料の準備とリンクさせるなど、衣や食の内容と結びつける視点を入れています。 ③第4大題材では消費者としての態度の育成に資するようにし、第6大題材では物を生かす視点から環境の内容を取り上げるなど、買い物の際に環境に配慮する視点を示しています。 ④環境への配慮を生活のあらゆる面と結びつけて考え、実践できるように、随所に「 環境マーク 」とともに、具体的な内容を示しています。	①p.36-43ほか ②p.116、117ほか ③p.36、54ほか ④p.21ほか 
キャリア形成に向けた取り組みがされているか。	①コラム「プロに聞く!」では、家庭科に関連する職業の人へのインタビュー記事を掲載し、仕事や生活への興味が高まるように工夫しています。	①p.27、42、52、61、101ほか 
中学校の学習内容との関連が適切に示されているか。	①中学校への学習に意欲を持ち、かつ円滑に接続できるように見通しを持つ場面を設けています。 ②中学校技術・家庭 家庭分野との学習内容の関連を示すために、「 関連マーク 」を掲載しています。	①p.135 ②p.93、97ほか 
日本の伝統や郷土・地域に関する教育に配慮されているか。	①家庭科の学習内容に係る 伝統的な内容は、「日本の伝統マーク」を付して取り上げています 。 ②わが国の伝統的な日常食である米飯とみそ汁については、資料を充実するとともに、確実に学習が身に付くように、実習の流れがひとめで分かるように示しています。 ③②とともに、ユネスコ無形文化遺産に登録された「 和食 」の特徴について取り上げたり、日本の伝統的な郷土料理を取り上げたりしています。	①p.18、27、46、48、52、53、61、69ほか ②p.44-53 ③p.27、44、53ほか 
グローバル教育に関する取り組みがされているか。	①日本の伝統や郷土・地域に関する教育を行うことで我が国の文化の大切さを知り、紹介できるようにしています。 ②外国人との関わりを示したイラストを掲載するなど、 共生の視点に気付くことができるように配慮 しています。	①p.18、27、46、48、52、53、61、69、149ほか ②p.12、36ほか
主権者として社会の中で自立し、他者と連携・協働しながら、社会を生き抜く力や地域の課題解決を社会の構成員の一員として主体的に担う力を発達段階に応じて、身に付けさせるよう配慮されているか。	①内容A 家族・家庭生活の4つの大題材を通して、家族や地域の一員という自覚を持たせるとともに、家族や地域のために自分に何ができるか考えられるようにしています。また、 18歳成年 にもつながっていきます。	①p.12、62、80、128ほか
教育のICT化への取り組みや情報教育に配慮されているか。	①デジタルコンテンツの活用が有効な内容に「 Dマーク 」を示し、 QRコンテンツを用意 し、授業で活用できるように工夫しています。 ②ICT機器の活用の仕方や情報モラルについて確認できるQRコンテンツがあります。 ③ICT機器の活用を促す吹き出しや活用場面をイラストなどで示しています。 ④学習者用デジタル教科書には、写真やイラストを拡大するなどの機能があり、より細部を見ることができ、詳しく学ぶことができます。 ⑤プログラミング教育の特集ページがあります。	①p.11、22、30、31ほか ②p.5 ③p.58、78、123ほか ⑤p.146-147 
ご指導のしやすさに配慮されているか。	①学習者用デジタル教科書に収録されている動画やデジタルコンテンツを活用することで、児童自身で苦手な箇所を予習・復習することができます。 ②教科書内やQRコンテンツにワークシートがあるので、ワークシート作成が軽減されます。 ③教師用指導書等にも、授業に必要なワークシートが収録されています。	②p.6-7、13、23、25ほか
学習を進めていくうえで、言語活動の充実が図られているか。	①基礎的・基本的な知識および技能を丁寧に解説するため、本文を充実させています。その際、児童の発達段階を考慮し、文章を読み取る力を養うことができるように配慮しています。さらに、 基本的な用語を十分理解できるよう、家庭科で扱う重要語句を太字で示す など、工夫しています。 ②家庭科の用語は、実感をともなって理解できるように説明や図、写真を加えたり、注釈を付けたりしています。 ③国語科の指導との関連や児童の発達に十分配慮し、4年生までの配当漢字を使用するとともに、6年生までの配当漢字は、ふり仮名を付して使用しています。 ④表現力を伸ばすように、学習の振り返り場面や「生活を変えるチャンス!」では、レポートの記入例を示して自分の言葉で表現するように促しています。 ⑤実習するだけに終わらず、自分の思いや気付きを表現し、伝え合う活動を取り上げています。 ⑥家族や地域の人々への気持ちを伝えることを促して、コミュニケーション力を高めたりする工夫をしています。	①②③教科書全体 ④p.61、121ほか ⑤p.42、61ほか ⑥p.63、64ほか

4 今日的な課題への取り組み

5 その他の取り組み